

マイクロラーニング導入支援のご提案



マイクロラーニングとは

スマートフォンなどのデバイスの普及、You-tubeなどの動画メディアの利用者増加に伴う学習環境の変化を受けて、近年国内外で注目されている新しい学び方。

従来の研修よりも極めて短時間（※）で学ぶスタイルからマイクロラーニングと呼ばれている。

※米国の大規模なオンライン教育の受講履歴をもとに実証研究を行った結果、

6分以内で完結する教材が学習に最適であることが明らかになっている

（出典：How Video Production Affects Student Engagement（Philip J. Guo））

POINT①

現場のノウハウ・知見を「映像」「スライド」で見える化し、
簡便に学べる様にすることで現場の生産性向上が可能

POINT②

研修時間の短時間化と従業員自らeラーニング教材開発をすることで
教育の低コスト化とスピードアップを同時に実現可能

| | 従来型eラーニング | マイクロラーニング |
|----|--|--|
| 時間 | 長い（1～3時間程度） | 短い（1～6分程度） ※細かなコンテンツ（6分×◎本で1講座）で構成 |
| 特徴 | <ul style="list-style-type: none">まとまった時間が必要＝忙しい人は見づらい映像が長いため、スマホなどでの視聴には不向き | <ul style="list-style-type: none">忙しい人でも学習可能PC／スマホなどでの学習にも適している複数のコンテンツやテストなどを組み合わせることで、学習効果の高い講座設計が可能 |
| 制作 | <ul style="list-style-type: none">制作にかかる時間とコストが高い飽きさせない教材を制作するためには、シナリオ・デザインなどの専門スキルが必要 | <ul style="list-style-type: none">短時間の教材制作であれば、専門スキルは不要短い時間で教材として完結させる必要がある ⇒テンプレートとトレーニングで誰でも制作可能に |

マイクロラーニング事例① A社



業界：製造業

従業員数：8,000名規模

対象：全社員

資源・エネルギー、産業機械、インフラなど幅広い事業分野で製品を展開する同社では、商品知識教育や技術継承が課題となっていた。これまでに社内講師による勉強会や研修は実施していたが、単発的かつ属人的になっていたこともあり、マイクロラーニングのプラットフォーム構築と全社的なノウハウの可視化（教材作成）スキル向上を図った。この事例でインソースグループがご支援したのは特徴の3、4です。

特徴

1. 教材管理・履歴管理・受講促進など**集合研修、eラーニングを一元管理できる環境構築**
2. 顕在化すべき知見・知識・スキルを**スキルマップ化**
3. **短時間（6分間）**でわかりやすい教材を複数の人が作成するための**教材サンプルと教材テンプレートを提供**
4. **営業部門、製造部門、研究部門および人事部門によるプロジェクトチームを発足。教材作成についてのトレーニングを行いながら、一斉に教材を作成**

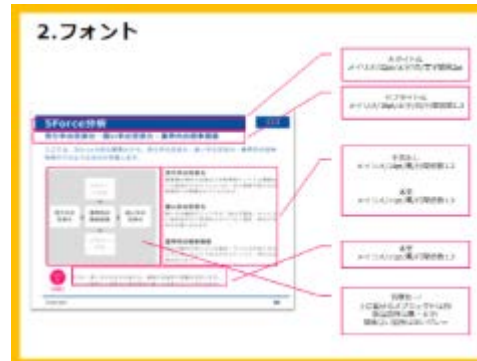
設計

1. 構成テンプレート

- ①短時間（6分間）
 - ②受講者の興味をひく
 - ③分かりやすい
- 教材を作成する構成を設計

2. デザインテンプレート

情報が整理されているスライドの作成方法を標準化
※右図参照



マイクロラーニング事例② B社



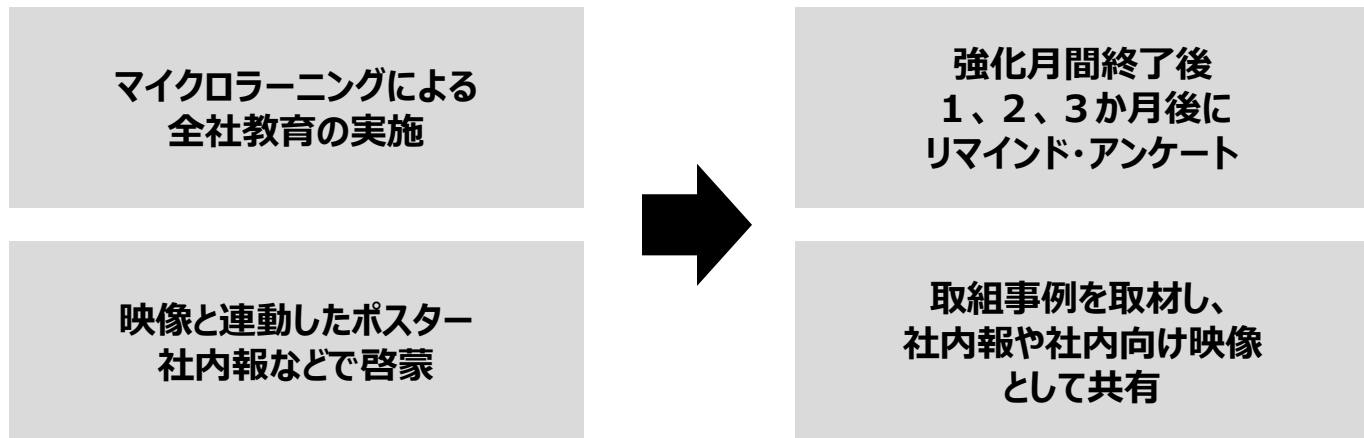
業界：鉄道グループ 従業員数：15,000名規模 対象：全従業員

鉄道、バス、不動産、スーパーマーケット、ホテルなど多種多様な業態の事業を展開するA社では、グループ全体のブランド価値向上に向けて、全従業員向けにCS教育を展開することに。この事例でインソースグループがご支援したのは特徴の2です。

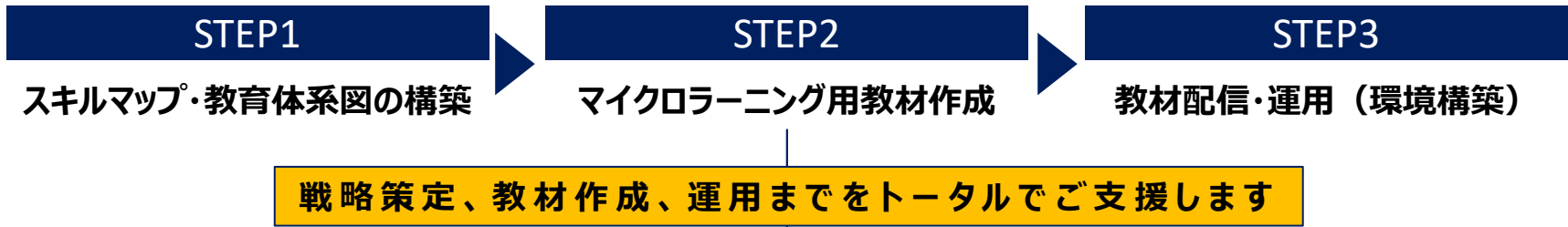
特徴

1. 教育にかかる時間は**14分間**（動画視聴6分＋職場単位での対話8分）
2. **動画視聴、職場単位での対話を進行するためのガイドブックもセットで配布**
3. CS向上月間として**ポスター、社内報などを用いた社内広報活動**を展開（参加感を演出）
4. 取組み事例を**取材、社内報などで全社共有**することで、さらなるCS向上に向けた取組みを促進

全体像



マイクロラーニング導入ステップ



マイクロラーニング導入コンサルティング

お客さまのニーズに応じ、
教材作成の支援や
社内体制づくりを実施



教材作成制作会社

- マイクロラーニング導入にあたっての教育体系構築支援（スキルマップの作成）
- 教育工学（学習デザイン）に基づいた短時間でわかりやすい動画教材・スライド教材の制作
- 短時間でわかりやすい教材テンプレート作成
- 教育工学に基づいた短時間でわかりやすい動画教材・スライド教材制作トレーニング

動画教育プラットフォームの提供

動画やスライドに対応した
LMSであるLeafを活用し、
低コストでマイクロラーニング
を提供



- 自社で作成した動画教材、スライド教材を掲載可能
- 受講者の視聴履歴、テスト回答履歴を一括管理
- マイクロラーニングに対応した、短く、わかりやすい教材が200種類以上標準搭載

(1) スキルマップ・教育体系図の策定

スキルマップと教育体系図の策定

目的

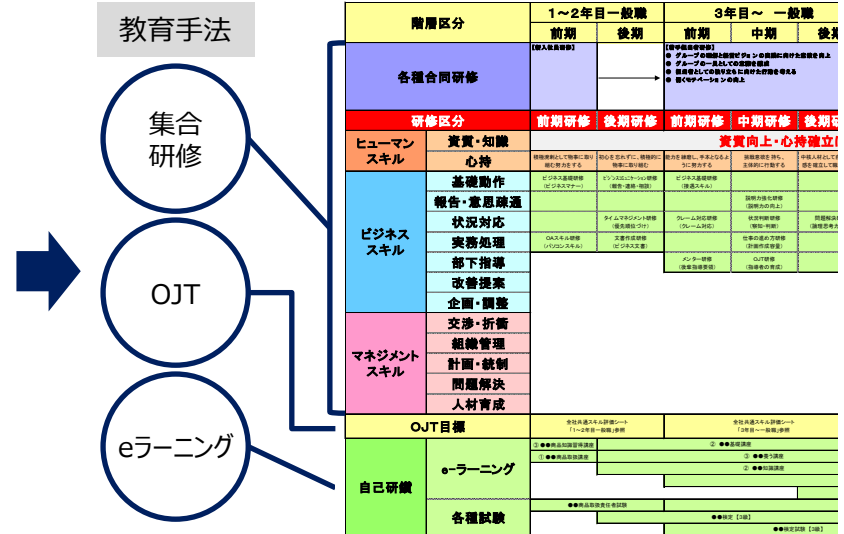
マイクロラーニング導入にあたり、改めて業務のパフォーマンスを左右するスキル・知見とは何か？を可視化することで、戦略的な人材育成を可能にします。

各職種、各階層に求められる知識・スキルを可視化するスキルマップと教育体系を策定します。

成果物

| 1年目（前期） | |
|------------------|--|
| あるべき姿 | <ul style="list-style-type: none"> 積極的な姿勢 業務を理解して、自分の担当業務を円滑にこなす 優先順位を付けて期限までに仕事を終わらせることができる 社会人としての一般常識がある 上司・先輩の指示・働き方 システムの理解 会社の全体像を把握できる（何だどこをやっているか、担当は誰が何だ） 問題を認識し、上場と相談できる 無難に必要な知識、スキル等を把握する 業務手続法の問題、業務フローの理解、簡単な案件の処理 社会人としての基本ルールを身に付ける 社会人としてのルールを守る 教えられた通りに正確に認識する 電話を取る等、連絡を積極的に行なう |
| 身につけておくべき具体的なスキル | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をすることができる 報告・連絡・相談を徹底できる 挨拶ができる 電話がかけられる、代理店応対ができる 基本的な電話応対ができる 簡単なPC操作の電話応対が理解できる 解決できる 自分の業務マニュアルが作成できる 休暇明けの対応ができる 業務スケジュールを立てられる 進捗状況の把握ができる 個人・得意先の状況や理解ができる 社内での基本用語を理解することができる 他部署の協力ができる 業務用品・機器の補充と点検ができる |
| | <ul style="list-style-type: none"> ビジネスマナー 正しい言葉遣いができる 電話応対ができる 社内ルール 必要事項が何か分かる 大きなニュースを覚えることができる メモを取れる 挨拶ができる 意識がわかる 部署の募集がわかる 社内特有の用語の意味がわかる |
| | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶がきちんとできる メモをきちんと取れる 部品の交換の理解ができる プリンターなどの交換ができる タブレット端末の作成ができる メールの返信ができる 後輩・上司の指導を素直に受け入れられる ミスはすぐに上司へ報告し得る マニュアルを熟読し込む 社員の名前と担当業務を覚える 電話の取次ぎ、代理店応対ができる メール・メモでの対応が求められることができる 基本的なPCの入力ができる コピー・印刷機が使える スケジュールの理解が積極的になれる 業務書の取扱いができる 個人・得意先を把握し理解し、コミュニケーション 光臨の機嫌が事務処理できる 社内メールを正しく送付できる |

階層・職種ごとにどのような知識・スキルが必要かを定義するスキルマップを策定することで、教育項目を可視化する



スキルマップに基づき、3つの教育手法の中から最適な教育手法を選択し、いつどの対象にどのような教育を実施するかを体系化する

進め方

- 社内選抜によりP Jチーム発足
(コミュニケーション力・業務知識豊富な方)
- 20名程度必要 (将来的に社内講師として活躍頂く)
- P Jチームにてワークショップを受講頂く。
→キャリア別にスキルや業務の洗い出し、スキルマップ化
→スキルマップをもとに、教育手法を選択し、
教育体系図を策定する
(マイクロラーニング化すべき項目の明確化)



【参考】スキルマップをワークショップ形式で作成する理由

1. 早くかつ安い～短時間で簡便に必要なスキルを洗い出せる

現場を良く知るマネージャーに集まっていただき、ワークショップ形式でスキルマップを作成することで極めて短時間で各階層に必要な、本当に役に立つスキルを高精度に洗い出すことができます。

2. 適切な内容、レベル感でスキルマップが作成できる

「どんなスキルが必要か」より〇〇スキルを「いつまでに」身につけるのが妥当かを決めるのは困難なものです。現場の仕事が良くわかっていないと早すぎたり、遅すぎたりするものです。マネージャークラスのメンバーが複数のチームに分かれて議論することで内容の検証も同時に実施していくことができます。

3. 社内の各部署の意見のすり合わせも同時に実施できる

インソースのコンサルタントがファシリテーターとして進めるので、各部門の調整もスムーズに可能となります。

4. 現場の教育意欲も同時に喚起できる

教育体系が現場の意見が反映されず上から降りてくる場合、内容の如何にかかわらず現場の反発があるものです。逆に現場のメンバー自らが作った教育体系であれば大事にし、具現化したいと考えるのが人情です。この方法なら教育意欲の喚起も同時に可能です。

5. 教育中核人材の育成にも有効

わずか数時間のワークショップで作成したスキルマップは完全ではありません。これを核に内容の精査、深化が必要です。「自分たちで作った教育体系だから、中身も自分たちで充実させていこう」と、ワークショップの参加者が、教育の中核者として教育を推進していくきっかけとなります。

(2) 教材作成

(2) マイクロラーニング教材作成支援

目的

スキルマップに基づき、短時間でわかりやすい教材を作成します。教材作成を内製化することで、環境変化に伴う新教材作成ニーズに対応できる組織体制を構築します。

教材の目的に応じて、多種多様なスタイルの教材作成を内製化していただきます。

「スライド型教材」

5Force分析

売り手の交渉力・買い手の交渉力・業界内の競争関係

ここでは、5force分析の要素のうち、売り手の交渉力・買い手の交渉力・業界内の競争関係がどのようなものか学習します。



売り手の交渉力

新業種や海外の企業などが新規参入してくる脅威は、どの程度の大きまでしょうか。参入障壁が高ければ、新規参入の脅威は小さくなります。

買い手の交渉力

買い手は顧客のことですが、例えば製品・サービスに独自性がなく差別化されていない場合、相手の交渉力は強くなります。

業界内の競争関係

例えば競合が同じような製品・サービスを安く売るようになったらどうするかなどについて、考える必要があります。



POINT 売り手・買い手の交渉力の強さは、価格や利益率に影響を及ぼします。これらの要素から業界内の競争関係の厳しさを考えることができます。

©copyright

00

「講義型教材」

5. 終了報告前のチェック



成果物

- ・事前に教育体系、スキルマップを踏まえて、3つ程度の教材サンプルとテンプレートを作成
- ・わかりやすい教え方と教材の作成方法について学ぶワークショップを開催し、基本的な知識・技術の習得
- ・PJメンバー一人ひとりにテーマを割り振り、教材作成
- ・中間レビューの機会を設けることで、進捗をフォローするとともに教材作成に対するコンサルティングを行う

進め方

教材サンプルと教材テンプレートを作成

ワークショップの開催 (1~2日)

教材作成期間① (2~3週間程度)

中間レビュー (1日)

教材作成期間② (2週間~)

【例】短時間でわかりやすい動画教材の作り方研修

昨今のスマートデバイスや動画編集アプリの普及により、誰もが動画を制作することが可能になっています。本研修では、専門的な機器や制作ソフトを使用することなく、短時間でわかりやすい教材を制作するための知識と技術を学んでいただけます。

所要時間：6～7時間

必要機材：動画編集ソフト（iMovie）などがインストールされたタブレットやスマートフォン（iPad、iPhoneなど）

| 内容 | 実施形式 |
|---|-----------|
| <p>1. マイクロラーニングとは？ （1）学び手にとってわかりやすいとは何か？ （2）教育の3類型と適切な教材スタイルの選択 （3）eラーニングとマイクロラーニング</p> | 講義 |
| <p>2. 短時間でわかりやすい動画教材を作る （1）教材制作の流れ ①目的、教材形式、用途の選択 ②カリキュラムの設計（全体としてどのような構成にするか？） ③教材ごとの学習項目の明確化（それぞれの動画教材で何を伝えるか？） ④シナリオ作成 ⑤制作（撮影・編集） （2）教材シナリオを作成する ①基本モデル：A R C Sモデル ②興味を引く ③関連させる ④学習内容を確認し、自信を持たせる 【ワーク】自身が担当する教材の3分間教材のシナリオ（絵コンテ）を作成する</p> | 講義 ワーク |
| <p>3. 動画教材の作り方 （1）撮影準備 （2）撮影 ～ 撮影手順、撮影画角、画面構成などスマートフォンやタブレットで撮影をする際の基本ポイント （3）編集 ～ トランジション（画面切り替え）、字幕などスマートフォンやタブレットで動画編集をする際の基本ポイント 【ワーク】3人1組になり、メンバーの教材を実際に作成する 【ワーク】代表作品の教材視聴と講評</p> | 講義 ワーク |
| 4. まとめ | |

(3) 動画教育プラットフォームの提供

マイクロラーニングで成果を出すための 動画教育プラットフォーム




Leaf 研修管理システム
-リーフ-

教材配信から運用まで、トータルで人材育成を
支援する動画教育プラットフォーム

or

STUDIO
Powered by  Leaf

200種類以上の動画教材が標準搭載された
動画教育プラットフォーム

人材育成に関する機能が揃ったオールイン・ソリューション

eラーニングだけでなく研修管理・目標管理・評価制度運用も一元管理できます

基本機能

- ・ インターネット環境があれば、いつでもどこでもアクセス可能
- ・ 受講案内や未受講・未回答者への催促を簡単に一括送信できる
- ・ C S Vファイルで受講者情報の一括取込み・一括修正が簡単にできる
- ・ 管理者、現場育成責任者、受講者の3階層管理が可能

eラーニング

- ・ お客様が作成したスライド教材、映像教材を掲載可能（本数無制限、追加費用なし）
- ・ 受講履歴や課題・テスト結果を一括ダウンロードできる
- ・ 受講者自ら、eラーニングを検索し、申込みことができる
- ・ 200以上の動画教材が標準搭載 ※STUDIO PBLの場合

テストアンケート

- ・ 自動採点のテストや解説を簡単に設定できる
- ・ eラーニング/集合研修の事前・事後アンケートを簡単操作で作成、送付、回答督促ができる
- ・ eラーニング/集合研修後のアクションプランシートもWEBで運用できる。
- ・ Excel,word,powerpoint,PDF,動画など様々なファイルを一括で回収できる

集合研修

- ・ 研修日時、会場、講師、カリキュラムなどの研修情報を一元管理できる
- ・ 受講案内、地図ダウンロード、座席表自動作成機能など、様々な事務作業が軽減できる
- ・ 集合研修前のeラーニング受講案内なども一つのシステムで実施できる
- ・ 受講者自ら、集合研修を検索し、申込みことができる

目標管理 人事評価

- ・ お客様の評価制度・評価シートにあわせて柔軟な運用を設計できる
- ・ 評価の実施依頼メール、督促メールを簡単に送付できる
- ・ 人事評価の進捗状況を一元管理できる
- ・ 評価結果を一括でCSVダウンロードできる。集計作業もスムーズに。

(4) 費用

費用

| 項目 | 数 | 金額 (税込み) |
|---|----------|------------|
| 教育体系構築支援 -ワークショップ、スキルマップ・育成体系構築支援 | 1式 | 3,000,000円 |
| 教材作成モデル設計 -教材テンプレート、サンプル教材作成、マニュアル作成 | 1式 | 3,000,000円 |
| 教材作成内製化支援 -ワークショップ、各種コンサルティング | 1式 | 2,000,000円 |
| 動画教育プラットフォーム -Leaf (プラットフォームのみ) / STUDIO PBL (200教材セット) | 次ページ以降参照 | |

全て税込価格

パターン①動画教育Leaf 映像教材、スライド教材の配信・管理プラットフォーム

1. 初期費用（ご利用期間が1年以上のご契約の場合※） **0円**
+
2. id利用費用

| プラン | 月額利用料金 |
|-------------|----------|
| 1～50ID | 28,350円 |
| 51～100ID | 29,700円 |
| 101～300ID | 72,900円 |
| 301～500ID | 94,500円 |
| 501～1000ID | 124,200円 |
| 1001～2000ID | 205,200円 |
| 2001～3000ID | 243,000円 |
| 3001ID以上 | 別途御見積 |

全て税込価格

- ※ ご利用期間が1年を下回るご契約の場合は108,000円（税込）がかかります。
- ※ 300ID未満でのご利用の場合は、研修登録数に制限が発生します。

パターン②STUDIO PBL

200以上の教材が標準装備された動画教育プラットフォーム

1. 初期費用（ご利用期間が1年以上のご契約の場合※1） **0円**
- +
2. id利用費用※2

| プラン | 月額利用料金 | 1ID追加単価 |
|----------|----------|---------|
| 50ID | 28,350円 | 567円 |
| 100ID | 56,500円 | 370円 |
| 300ID | 130,500円 | 360円 |
| 500ID | 202,500円 | 350円 |
| 1000ID | 378,000円 | 325円 |
| 2000ID | 703,000円 | 270円 |
| 3000ID | 973,000円 | 250円 |
| 4001ID以上 | 応相談 | 応相談 |

全て税込み価格

※1 ご利用期間が1年を下回るご契約の場合は108,000円（税込）がかかります。

※2 各プランに対して、IDを追加する場合はそのプランに記載されている1ID単価に基づき月額利用料金を決定します。

例：80IDの月額利用料金 = 28,350円 + 567円×30ID = 45,360円

150IDの月額利用費用 = 56,500円 + 370円×50ID = 75,000円

STUDIOは、1idで利用期間の間、同一人物がご受講いただけます。

1idを用いて、複数人が同時ログインすることはできません。

【参考】STUDIO PBL

ビジネスマナー、マネジメント、コンプライアンス、Microsoft-Officeなど 200本以上の動画が視聴し放題

1. 若手から管理職層に対応するラインナップ

| | | | |
|--------|--|---------|--|
| 管理職層 | <ul style="list-style-type: none"> マネジメントの原理原則 労務管理 メンタルヘルス（ラインケア） 人事評価 評価面談の進め方 経営戦略 コーチング マーケティング | 全社員対象 | <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 個人情報保護 情報セキュリティ ハラスメント防止 ダイバーシティ メンタルヘルス（セルフケア） リスク意識向上 障がい者差別解消法 |
| | など | | など |
| 中堅層 | <ul style="list-style-type: none"> リーダーシップ OJTの進め方 メンター ファシリテーション タイムマネジメント 問題解決 論理的なコミュニケーション 財務基礎 | 営業・CS向上 | <ul style="list-style-type: none"> 営業基礎 アウトバウンド基礎 ケースで学ぶCS向上 クレーム対応（法人編、接客編 他） 業界理解（金融、小売、製造 他） 分かりやすい資料の作り方 提案書の作り方 交渉力 |
| | など | | など |
| 新人・若手層 | <ul style="list-style-type: none"> ビジネスマナー 仕事の進め方 ビジネス文書 職場の常識 大人の言葉遣い ロジカルシンキング コミュニケーション プレゼンテーション 会社の数字の見方 | その他 | <ul style="list-style-type: none"> Office 2010 (Word / Excel / PowerPoint) 海外赴任者 社内講師養成 採用面接の進め方 日本企業での働き方(外国人向け) 論文の書き方 |
| | など | | など |

2. テーマに合わせたバリエーション豊かな教材

